



高志台

NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

学園だより

Vol.183
2014. 7. 25発行

CONTENTS

02-03	……長岡高専は変わりました!	11	……学生寮行事報告
04-06	……高専に入学して	12-13	……専攻科だより
07-08	……留学生からこんにちは	14-15	……新任教職員紹介
09	……全国高専体育大会実施予定	16	……トピックス
10	……姉妹校紹介		

★高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに”(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校
Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

長岡高専は変わりました！

広報戦略室を立ち上げました！

校長 渡邊 和忠

長岡高専では、一昨年度までホームページの更新や「学園だより」は広報委員会が担当し、「学校案内」の作成、中学校訪問やオープンキャンパスの企画・運営は入学者対策室が担当し、それぞれ独立に活動していました。長岡高専として、どのような情報を、いつ、だれに、どのように発信するかについてしっかりと考え、実施する部署がありませんでした。このため広報委員会と入学者対策室、それぞれが前年度の活動をそのまま踏襲し、ともすればマンネリ化する傾向に

陥りがちであると同時に、発信すべき情報が抜け落ちていることもあったと感じていました。そこで広報委員会と入学者対策室を統合して広報戦略室とし、広報戦略室の中に広報部門と入学者対策部門を設けました。広報戦略室メンバーは活動方針を決めて全体を統轄するだけでなく、実際に広報活動や入学者対策活動を行なうことになり、とても大変です。それにも拘らず皆さんは本気で取組み、長岡高専を本当に知って頂こうと頑張っています。

広報戦略って何ですか

広報戦略室長 荒木 信夫

学校って、学生としっかりと向き合い、指導・教育する場所。…えっ、それだけではダメなんですか？

日本国内では、少子化にともなって大学をはじめとした高等教育機関のサバイバル合戦が勃発しています。長岡高専もできる限り優秀で、やる気があって、タレントを備えた中学生を捜し出し、高専に導く必要があります。また、政府から交付される学校の運転資金が毎年削減されていますので、研究費などの自己資金の獲得が大きな課題となっています。

さて、この二つの命題をクリアするにはどうすればいいのでしょうか。それは長岡高専の教育・研究活動

を広く社会に公表し、「長岡高専なかなかやるじゃない」と知っていただくことです。

残念ながら教員には広報に関する専門家はいません。しかし、私たちは学会で自分の研究成果を吠えまくった経験は豊富です。プレゼンテーションでは自分の研究を説明するだけでは不十分です。その説明によって相手がどのように理解し、どのような印象を持つかが最重要なのです。ただ単に学校を説明するのではなく、あくまでも相手が長岡高専に対してどのようなイメージを持つのか。これを広報戦略の基本として活動を展開していきます。

長岡高専の良さを知ってもらうために

広報部門長 坂井 俊彦

これまで広報委員会では、学外向けにホームページの更新、保護者や学校関係者向けに学園だよりと学校要覧を発行してきました。一方、中学生向けの広報はこれまで主に入学者対策室が担ってきました。昨年度の広報戦略室1年目の広報部門では、中学生向けにWebページの充実を図るため、ページデザインを学内公募しました。このページは昨年度中の公開には至りませんでしたが、今年度、ホームページの全面改訂も視野に入れ、より多くの中学生に見てもらえるホームページ作りをしていきたいと考えています。また昨年

度はTVCMの放映、BSNと学習塾TOP共催の新潟県数学選手権中学生大会に協賛し、新潟県内すべての中学校に配布されるポスターや、BSNのテレビ・ラジオの大会CMの中で長岡高専をPRしました。まちなかキャンパス長岡でも学内の先生方の協力を得て、各学科の特徴を表すパネルや、ロボット、LEDイルミネーション、橋梁模型などの展示を行いました。長岡高専の良さを知ってもらうために、今後も皆で知恵を出し合いながら広報活動を行っていきたいと考えています。

入学者対策部門の成果と課題

入学者対策部門長 高橋 章

当部門の使命は中学生に本校の存在をアピールし、進路に選んでいただくことです。このため、オープンキャンパスや入試説明会のように本校が企画・実施するイベントのほか、中学校へ出向いての学校説明や、関連イベントへの出展などを担当します。学校全体の広報活動との連携を強化し、戦略的な活動を行うために、独立性の高い「室」から「部門」に移行して1年が経過しました。熱意あるメンバーに恵まれ、入試の受験者数も増加するなど、及第点はクリアできているのではと感じています。同時に、戦略的活動の成果が問われる2年目に向け、継続的に改善に取り組む必要性も感じます。長期的に志願者を安定確保するには、優れた卒業生を輩出し続けるための教育環境の充実が必要です。関係の皆さま

のご協力とご支援をお願いいたします（学生の皆さんはしっかり勉強してください）。



オープンキャンパスの様子

混合学級スタート！

1学年担任団

今年度から1年生における混合学級がスタートしました。入学者確定直後からクラス分けを始めたのですがとにかく時間がなく、教職員は合宿研修直前まで右往左往していました。昨年度までと違いクラス内に全学科の学生がいるので、今でもたびたび細かい事務的なこと等で迷ったりしています。しかし、学期スタートの時点では、学生たちには非常に好評のようです。

「他学科の専門科目の興味深い話が聞けた!」、「勉強を友達に教わった!」等肯定的な話を聞くことができてほっとしました。一方、学科別授業では学科単位のクラス編成になるなど、複雑になった面も多く、学生の人間関係自体も、これから変化してくると思われますので、今後も学生の様子に注意していきたいといます。

今回は入学直後の合宿研修についてお話したいと思います。4月9日から11日までの2泊3日で新入生合宿研修を妙高青少年自然の家で実施しました。今年は、天候に恵まれました。天気が良いとやはり気分が良いですね。初日の昼食は高田公園でとりました。桜が見事に満開でした。1年生は宿泊する部屋のメンバーごとに昼食をとりましたが、このときは下の写真の様にまだごちない雰囲気でした。



3日間の研修で、春休み課題試験（数学・英語）、全体ガイダンス（学習・生活上の注意等）、3回のクラスミーティング（自己紹介、役員選出、感想文等）、校長講話、アイスブレイキング（初対面の人同士が出会う時、その緊張をときほぐすための活動）、学生主事講話とたくさんの研修活動を行いました。他団体も研修を行っていたりした関係から、最初から計画通り進まずに、1日目の数学の試験を10分短縮しなければならなくなったりしました。また、初めて妙高青少年自然の家に来た学生も多く、広い施設内で迷子になった学生もいたのではないのでしょうか？学生、教員ともに生きる力が試された3日間でした。いくつかの研修活動について詳しく述べます。まず、数学の春休み課題試験についてです。春休みの課題（中学で学習した内容）からの出題です。学年平均が55.7点でした。例年よりもやや低い印象を受けました。クラス平均は大きな差はありませんでしたが、各クラスともクラス内での差が大きいようです。100点満点を取った学生もいれば一桁の得点の学生もいるという状態です。成績に入らない試験だったので

手を抜いた学生がいるのでしょうか？しかし、答案を見てみると分数式の計算などの中学における基本事項が完全に身につけていない学生が非常に多いことがわかります。数学は勉強すれば必ず伸びる教科です。授業だけでなく、家庭学習もしっかりやってください。少なくとも5年生前期まで数学の授業があります。1年生のうちに基礎学力をつけておきましょう。英語に関しては、中学校3年間の復習（春休み課題）を試験範囲にテストを行いました。不規則変化の動詞の活用も含め、得意・苦手が見え隠れした結果となりました。英語が得意で、しっかりと春休みに準備をした学生には良い力試しとなり、満足できる結果だったと思います。長岡高専での英語は非常にチャレンジングであると思います。読解の授業（英語ⅠA）、文法の授業（英語ⅠB）、英語のネイティブスピーカーによるオーラルコミュニケーションの授業と3種類の授業で英語にアプローチしています。本校は英語教育に力を入れているため、図書館には7千冊を超える英語多読用の書籍がそろっており、高専生のチャレンジ精神に備えています。その他にも英語弁論大会や英語エッセイコンテストに挑む学生も毎年おり、4月にはTOEIC Bridge-IPテスト、秋には全員が英検（第2回）に挑戦する予定です。ご家庭でも英語学習を強く推奨していただき、英語ができる高専生を目指しましょう。

合宿研修2日目の午後にはアイスブレイキング活動を行いました。NPO団体から金巻先生をお招きし、指導をしていただきました。この活動を通してクラス内の仲間同士の壁（氷）が一気に溶けるきっかけとなりました。



上の写真にも見るように、お互いに手を取り合い、全員が一斉に立ち上がるなど、アイデアを出し合い協力することで成し遂げる「体験型」のプログラムに、思わず心から笑いが起こったり、悔しがったり、同じ目標に向かい必死に挑戦する場面が数多くみられました。活動を経て、宿泊部屋のメンバーとの会話が深まり、クラスの仲間との団結力が増し、新しい仲間作りの大きなきっかけとなりました。

スケジュール的には大変でしたが、みんな仲良くなることができたと思います。大変充実した3日間でした。この原稿を書いているのは、ちょうど中間試験が終わった時期です。もう6月半ば過ぎです。成績が気になりますね。（文責 1学年主任：佐藤直紀）

高専に入学して



高専に入学して

1年1組 機械工学科 小野塚 桃子

4月に高専に入学して、あっという間に2か月が経ちました。段々クラスにも機械工学科にも慣れ、充実した学校生活を送っています。4月に入学した当初は、機械工学科に女子が1人しかいないことを知り不安を抱えていました。しかし実際に学科に行ってみると、クラスのみんながとても優しくて明るくすぐに打ち解けることができました。

実習では、分からないことを丁寧に教えてくれる人もいて、本当に嬉しかったです。「機械工学科で本当に良かった」と思っています。授業面では、ようやく高専の90分授業にも慣れた頃、1回目の定期試験がありました。英語のカリキュラムが3つに分かれたり、専門科目もあったりと、試験勉強に苦労しました。今回の試験では試験直前に慌てて勉強をしてしまったので、次の試験では余裕をもって試験勉強をしていきたいと思いました。これから5年間1日1日を大切に過ごし、自分の夢に向かって強く前へ進んでいきたいと思っています。



新たな生活「家からの旅立ち」

1年3組 電子制御工学科 小澤 拓也

「え、はやくね?」「いやいや、今なんです。」ドキドキとワクワクで入学してきた長岡高専。そして、これまたドキドキとワクワクで入った寮。期待と不安が入り混じった新たな生活は2か月が早くも経ちました。

この長岡高専での生活は毎日が新鮮です。まず寮での生活です。家族と離れて生活するのは不安でした。しかし、始めこそ厳しかったものの、今は友だちと生活することがとても楽しいです。

学校生活では、ほかの高校ではあまりない90分授業はとても長く感じ、慣れるにはもうちょっと時間が必要です。そして、楽しみにしていた専門科目は内容が難しいけれどとても面白いです。

僕はこの学校に入って良かったと思っています。新しい環境、新しい友だち、本当に毎日が新鮮で楽しいです。

まだまだ始まったばかりの高専生活、悔いなく今を大切に過ごしていきたいです。



高専に入学して

1年2組 電気電子システム工学科 片桐 環

私が長岡高専に興味を持ったのは、夏休みにあったオープンキャンパスに行ってからです。それまでの高専のイメージは勉強ばかりの少し堅苦しいイメージがありました。しかし、いざ行ってみると校舎はきれいで、設備が整っており、なによりも先輩方がいきいきと学校生活を送っているように感じました。私もこの学校で学校生活を送りたいと思いました。それでも入学式の前は、勉強についていけるか、友達はあるかなどたくさんの不安でいっぱいでした。入学してすぐに1年生合宿研修がありました。様々な研修を行っていく中で、たくさんの人たちと話す機会があり、これからの学校生活が楽しみになりました。

私は、高専に入学してからまだ2か月程しか経っておりませんが学校生活がとても楽しいです。たくさんの事を吸収して高専を卒業するとき、この学校を選んでよかったと本気で思えるように努力していきます。



高専に入学して

1年4組 物質工学科 長谷川 輝

4月にこの長岡高専に入学して早くも2か月が過ぎました。入学直後の合宿研修が終わってから本格的に授業や学校生活が始まり、初めの頃は、他校や今までとは違う90分間という授業スタイルに四苦八苦していましたが、2か月が経った今ではそれにも慣れてきたと感じています。

入学後、初めての大きな試験である前期中間試験も終わり、中学の時よりも増えた科目数などに戸惑い、以前のように計画的に学習することが出来ず、後半になってから慌ててしまったことから、計画の大切さや、日々の努力の積み重ねの重要性をあらためて実感し、次回への良い教訓になりました。

高専生活はまだ始まったばかりです。中学とは環境が違い、自分で考え行動することも多くなり、これからは四苦八苦することも多いと思いますが、それから学んだことを生かし、充実した5年間を過ごしたいと思っています。



高専に入学して

1年5組 環境都市工学科 石原 杏菜

4月7日にこの長岡高専に入学して、あっという間に2か月が経ちました。まだ2か月しか経っていないのに色々なことがありました。入学

式のときは、寮生活に慣れるか、学校の授業についていけるか、クラスに馴染めるかなどとても不安でした。入学式から3日目、まだ不安な気持ちでいっぱい、私たち1年生は妙高へ合宿に行きました。この合宿のおかげでたくさんの人と話すことができ、たくさんの友達ができました。合宿も終わり、その後は部活動に入部したり、授業に遅れないように予習や復習をしたりなど毎日やることが多く、とても忙しい日々でした。しかし、2か月が経った今、学校生活と寮生活に少しずつ慣れてきて、新しい友達と過ごす日々がとても楽しいと感じています。まだ分からないこともあります。不安なこともあります。しかし、それ以上にこれからの学校生活や寮生活等の毎日がとても楽しみなので、毎日を全力で楽しみたいと思います！



高専に入学して

物質工学科4年 長沼 舜

私が高専に編入学して2か月が経ち、ようやく学校生活を楽しめるようになりました。はじめは慣れない環境で戸惑うことばかりで、まず出

来上がっていたクラスに馴染むことがとても大変でした。最初は人見知りをしてあまり自分から話しかけることができず、馴染むまでに時間がかかりました。

また学習面では、クラスの人と比べ圧倒的に専門の知識が少なく、そのため授業内容を理解するのにかなり苦労しました。とくに課題やレポートは大変だったのですが、クラスの友人に教えてもらい何とかできるようになりました。

課題やレポートの提出に追われる毎日で休む暇がなく大変ですが、学校生活は楽しく充実していると感じています。高専での2年間を後悔が残らないように過ごしていきたいと思います。



専攻科に入学して

電子機械システム工学専攻1年
平山 健太（機械工学科出身）

専攻科に入学し、この学校での生活も6年目に突入しました。私が専攻科に入学した理由は、5年生の時と同じ研究室で研究を引き続き行えることと、進路に対する考えや、視野を広げたいと思ったからです。私は現在、太陽電池の研究を進めています。内容が難しく身につけていない部分が多々あり、知識も技術もより深めなければなりません。修了するまでに成果を出せるように努力していきたいです。

進路については、先に控える就職活動に向け早めに準備をしながら、夏にあるインターンシップなどから有益な情報を得られたら良いと思っています。また、専攻科の授業はすべてが学修単位科目であるため、本科の時に比べて課題の量が非常に増えました。毎回の授業で出されるため大変ですが、研究の空き時間等をうまく活用しながら課題に取り組もうと思っています。

最後に、部活に出られる時間が最近少なくなりましたが、本科の頃から続けている陸上の練習も継続して取り組んでいきたいです。



専攻科に入学して

電子機械システム工学専攻1年
村上 美優（電気電子システム工学科出身）

早いもので高専生活もついに6年目になりました。専攻科では忙しいながらも充実した日々を送っています。

まず、専攻科に入学して感じたことは、課題や発表の機会が多い、ということです。そのため発表の準備や課題に追われることにはなりますが、自然と文章力やプレゼン能力があがります。また、専攻科では3専攻が集まって何かをすることが多く、交流範囲が本科の時よりも広がりました。最後に、専攻科は他大学とは違い、1年生のうちから研究に取り組めることに加え、本科での研究を引き続き行えるため、より一層知識を深めることができます。以上のことより私は専攻科がとても魅力的であると思います。

今年は夏にインターンシップや学会を控えているため、今まで以上に多忙になります。また、私は大学院への進学を希望しているため、それに向けての学習も行わなければなりません。そのため、2年という限られた時間を最大限に使い、頑張っていこうと思います。



“大学を選ぶ”ということ

電子機械システム工学専攻1年
川村 裕子 (電子制御工学科出身)

進学を考えているみなさん。大学選びは、将来を左右するとても大切なものだと気づいているでしょうか。大学にはそれぞれの考え方や伝統があり、その環境に身を置くことで得られる知識や能力等はとても多いことでしょう。ここで、わたしが所属する専攻科を例に、いいところを二つピックアップします。

一つ目は、何といっても環境がほぼ変化しないため、勉強に集中できるということです。また、スライド発表の授業が多く、研究発表等に必要不可欠である自己表現・意思疎通能力等も身に着けることができると思います。

二つ目は、好きな研究をさせてもらえることです。専攻科にもなると、研究室の先生との仲も深まり、可能な範囲で自由にやらせてもらえます。これは研究を頑張りたい人にとってとても重要なことではないかと思います。

将来自分は何をしたいのか、そのためにはどんな大学が適しているのか分かっている人のほうが少ないと思います。将来について考えるのに遅いはあっても、早いはありません。進学先として、専攻科も選択肢の一つです。たくさんの人の話を聞き、後悔しないようにたくさんの時間を使って考えてみてください。



手放すこと・切り離すこと

物質工学専攻1年
野中 大輔 (物質工学科出身)

手放したり・切り離したりした結果から導いたことが、専攻科に進学するということでした。私は、自分の将来について事細かに紙に書き出してみました。自分の夢や目標で、紙はあっという間に埋め尽くされました。ですが、多くの選択肢があることは、無駄なエネルギーを費やしてしまうと感じたので、私は「手放すこと」にしました。夢や目標を二つに絞り、そこに向かってがんばることにしたのです。そして、自分の周りの無駄なことも「切り離すこと」にしました。あなたがエネルギーを使うべきでないことが、周りにはたくさんあります。よく見極めて、それを切り離し、自分のためになることに力を使ってみてください。そうすれば、もっと体も心も軽くなり、自分の将来を考えることができると思います。



抱負

環境都市工学専攻1年
刈谷 潤貴 (環境都市工学科出身)

早いもので専攻科に入学して3か月が経とうとしています。また、高専に入学して6年目を迎えることとなりました。本科で5年間、専攻科で2年間と同じ学校に長く在籍しますが、それだけ高専に大きな価値があり、専攻科に進学することで自分自身プラスになると思います、専攻科に進学しました。

実際に専攻科生としてスタートをしてみると、毎日の課題に当初は苦労しましたが、今ではようやく慣れ、研究に時間を多く費やすことができるようになりました。私にとって“研究”は専攻科を選んだ大きなポイントであり、今後も学会などがあるので力を入れていきたいと思います。また、専攻科での学校生活をさらに充実させるためにも、自分の時間、友達との時間を大事にしていきたいです。自分の時間と言っても私は趣味がないので、まずは趣味を見つけることを目標に過ごしたいですし、限りある時間を有意義に過ごせたらと思います。

最後に人生の3分の1をこの学校で過ごしてきて、思い出が二つや三つだと寂しいので、精一杯勉強して、精一杯遊んで思い出を増やせればと思います。



留学生からこんにちは



機械工学科3年
アハド カイル イザイディ
ビン モハド ナジブ
(マレーシア)



初めまして。機械工学科3年のイザイディです。マレーシアからきました。実は私の名前はアハド カイル イザイディ ビン モハド ナジブです。長いですが、イザイディだけでいいです。

日本へ来る前にマレーシアで2年間ぐらい日本語を勉強しました。日本語を勉強し始めたとき、本当に嬉しかったです。ひらがな、カタカナと漢字を習っただけではなく、私は初めて日本人の先生に教えてもらうことができましたからです。

日本へ来たばかりの時、少し心配な気持ちがありました。私は日本人と友達ができるかどうか心配でした。しかし、長岡高専へ来たばかりの時、私の考えとは違いました。私は長岡高専のチューターと友達になれました。チューターは私をたくさん手伝ってくれました。やはり、日本人はとても優しいです。

私は今から3年間長岡高専で勉強します。その間に色々な日本のことを体験して、たくさん日本人の友達をつくりたいです。皆さん、よろしくお願いします。



機械工学科3年
ホアン フー フン
(ベトナム)



はじめまして、ベトナムから来た留学生のホアンフーフンと申します。

長岡高専に入学する前、2年間千葉県に住んでいました。その頃日本語を勉強しながらアルバイトをして進学を目標として毎日頑張っていました。いろいろな新しいことを体験したおかげで、日本の習慣と日本人の生活がよくわかりました。

進学先を決めるとき少し悩む事がありましたが、先輩の勧めで長岡高専で勉強することが決まりました。最初はさまざまな心配なことがありました。日本語をまだうまく話せないし、授業の内容も難しいし、同級生や先生方の言っていることもなかなか聞き取れませんでした。しかし、先生や友達やチューターのみんなは優しくて熱心に教えてくれ、困難なことを手伝ってくれて、少しずつ勉強も生活も慣れてきました。これからもっと頑張りたいと思います。

それでは皆さん、よろしくお願いします。



電気電子システム工学科3年
ファム チュン ジャン
(ベトナム)



皆さん、こんにちは。電気電子システム工学科3年のジャンです。ベトナムから来ました。日本に来て2年間たちました。長岡高専に来る前に、東京の日本語学校で日本語を勉強しました。日本での生活に慣れてきましたが、長岡高専に入学して、生活がすっかり変わってきました。はじめて寮生活をするのは大変でした。しかし、いいチューターと先輩がいろいろなことを助けてくれて、だんだん慣れてきました。本当にありがたいです。

授業が始まると、最初は先生の話が聞き取れないし、専門科目も多くてとても困りました。自分がうまくついて行けるかなと心配になりました。しかし、先生に優しく説明していただいたので、授業がわかるようになりました。また、クラスの皆さんも親切に教えてくれました。なので、クラスマッチや実地体験旅行などもとても楽しく参加できました。私は体験したいことがまだたくさんあるので、みんなと一緒に楽しみたいと思います。

これから、多くの友達を作り、皆と仲良しになり、一緒に将来に向かって行きたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



電子制御工学科3年
ガンバト オリギル
(モンゴル)



皆さん、こんにちは。電子制御工学科3年のオリギルです。モンゴルから来ました。

最初のころは分からないことが山のようにたくさんありましたが、高専の皆さんに色々とお世話になったおかげで、寮での生活にも勉強にも慣れて来ました。たくさんの友達も出来てとても嬉しいです。いつも相談に乗ってくれる先生方や先輩たちに感謝の気持ちをお伝えしたいです。

長岡高専に来て、勉強だけでなく文化体験や留学生旅行などたくさんの面白いイベントに参加しています。とてもいい経験になります。日本人学生や日本文化に接する機会を作ってくれている皆さん、本当にありがとうございます。

日本は技術が優れていることで、とても有名です。だからこそ、私はその国の教育を受け、その技術を学ぶために、日本にそして長岡高専に来ました。そして得た知識を生かして、自分の国だけでなく世界に役に立つ人になりたいと思っています。

自分の努力と皆さんの応援の声があれば、きっと私の

夢が叶うと信じています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



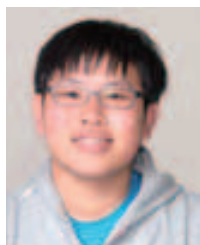
物質工学科3年
ティ ジャー イー
(マレーシア)



物質工学科3年のティと申します。マレーシアから来た留学生です。今年の4月2日に日本に来ました。その前、2年間はマレーシアで日本語を習いました。ここに来てびっくりしたことはいくつもありました。それは、ごみの分類や飲める水道水などでした。そして、来たばかりの時、雪も少し降っていました。1年中暑いマレーシアとは違う景色が見えました。

最初、日本語でしゃべることはまだ慣れていないし、授業もあまりわかっていないので、ちょっと困りました。しかし、チューターと友達がいって、色々教えてくれました。そして、学校の先生方もとてもやさしいので、本当に良かったと思います。これからも頑張って、色々なことを勉強していきたいと思います。

よろしくお願いします。



物質工学科3年
チュン ダイ ユン
(ベトナム)



皆さん、こんにちは。私はユンと申します。ベトナムから参りました。

長岡高専で勉強している前、2年間、東京に住んでいました。日本語学校に通いながら、仕事をしていました。最初、日本語は下手だし、親元を離れたので、本当に大変で、なかなか生活に慣れませんでした。しかし、私はあきらめないで前に進みました。

今年、4月に長岡高専に入学しました。生活も環境も完全に変わったので、生活や勉強のことがとても不安でした。しかも、先生の話が聞きとれないこともありました。しかし、先生やチューターの皆さんが色々親切に教えてくれ、家族のような雰囲気の寮生活を送る中でだんだん慣れてきました。

私の学科は、実験が多く、レポートも多いので、毎日大変です。しかし、夢を実現するために努力することで、どんなことでも乗り越えることができるという信じています。



環境都市工学科3年
ティアン シンリ
(マレーシア)



こんにちは。シンリです。マレーシアから来ました。マレーシアで2年間の高専予備教育学校で日本語を勉強して、日本に留学できるのは本当によかったと思います。

日本に来たばかりの時、生活に慣れられないとか、日本語を上手に話せないとか、友達ができないとか、色々なことを心配しました。しかし、先生方、先輩達、チューターと皆さんは親切で、いろいろ教えてくれて、本当にありがたいです。

日本に来てからもう2か月くらいで、少しずつ日本の生活に慣れてきました。外国で一人暮らしをするので、家族のことを思い出し、ホームシックになる時もありますが、皆さんがやさしくて、寮生達と日々を過ごしたり、クラスメートと勉強したり、毎日楽しんでます。最近の留学生実地見学旅行も参加して、日本人の友達と色々話したり、日本の文化を体験したり、本当に楽しくて、いい経験をもらいました。これからも、日本に留学しているうちに、色々な日本の文化をみんなと一緒に体験したいと思います。

どうぞよろしくお願いします。



〔写真2枚：5月12日(月) 留学生歓迎懇談会〕

第49回全国高等専門学校体育大会 実施予定

競技種目		競技日程	開催校	競技会場
陸上競技		平成26年8月20日(水)～21日(木)	高知工業高等専門学校	宿毛市総合運動公園 陸上競技場
バスケットボール	男子	平成26年8月30日(土)～31日(日)	高知工業高等専門学校	高知県立春野総合運動公園 体育館
	女子	平成26年8月30日(土)～31日(日)	高知工業高等専門学校	高知県立春野総合運動公園 体育館
バレーボール	男子	平成26年8月23日(土)～24日(日)	阿南工業高等専門学校	徳島市立体育館
	女子	平成26年8月23日(土)～24日(日)	阿南工業高等専門学校	徳島市立体育館
ソフトテニス		平成26年8月30日(土)～31日(日)	阿南工業高等専門学校	JAバンクテニスプラザ (雨天時)阿南市スポーツ総合センター
卓球	球	平成26年8月30日(土)～31日(日)	弓削商船高等専門学校	松山市総合コミュニティセンター 体育館
柔道	道	平成26年8月30日(土)	新居浜工業高等専門学校	愛媛県武道館
剣道	道	平成26年8月24日(日)	香川高等専門学校 (詫間キャンパス)	観音寺市立総合体育館
硬式野球		平成26年8月23日(土)～24日(日)	香川高等専門学校 (高松キャンパス)	A会場：香川県営野球場 (レクザムスタジアム) B会場：香川県営第2野球場
サッカー		平成26年8月23日(土)～26日(火)	新居浜工業高等専門学校	A会場：新居浜市営サッカー場 (グリーンフィールド新居浜) B会場：西条市ひうち陸上競技場
ラグビーフットボール		平成27年1月4日(日)～9日(金)	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール		平成26年8月18日(月)～19日(火)	阿南工業高等専門学校	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール
テニス		平成26年8月27日(水)～29日(金)	香川高等専門学校 (詫間キャンパス)	香川県総合運動公園テニス場 (雨天時)香川高等専門学校 高松キャンパス 詫間キャンパス 体育館
バドミントン		平成26年8月23日(土)～24日(日)	弓削商船高等専門学校	松山市総合コミュニティセンター 体育館
水泳	泳	平成26年8月24日(日)	香川高等専門学校 (高松キャンパス)	香川県立総合水泳プール (屋外・長水路)



姉妹校紹介



学術協定校の紹介と平成26年度 学生海外派遣研修について

国際交流推進センター長 中村 奨

本校は中国の黒龍江工程学院ならびに東軟信息学院と学術交流協定を締結し、以来学術資料や情報の交換、教職員及び学生の交流などを進めています。また平成24年度には、あらたにタイの泰日工業大学と学術交流協定を締結しました。泰日工業大学は2007年に日本型物づくり大学としてバンコクに開学した大学であり、卒業生の50%以上は日系企業に就職するなど、日本及び日系企業と関係の深い大学です。昨年度は11名の長岡高専生を泰日工業大学に短期派遣し、第1回ライントレースロボット大会を実施してきました。そして今年の5月には、泰日工業大学の学生13名が長岡高専に来校し、第1回GR-SAKURA LED MUSIC DANCE大会を実施しました。タイでは政治的混乱が続いておりますが、状況を確認しながら、今後数年間にわたり泰日工業大学と長岡高専との間で学生の相互交流を実施していきたいと考えています。

また国際交流推進センターでは、今年度も昨年度同様に、学生を海外へ派遣し国際性を高める取り組みを行っていきます。今年度はベトナム、シンガポールそしてタイへの派遣を計画しています。

泰日工業大学との学生交流

電気電子システム工学科 矢野 昌平

タイの中心バンコクにある泰日工業大学（TNI）から教員1名と学生13名が、5月25日～29日の日程で本校を訪問し市内の企業（NSアドバンテック）や長岡技術科学大学の見学と、人とマイコンでダンスや物語を表現するGLMDコンテストに本校学生と混成チームを作り競い合う学生交流とを行いました。TNIとの学生交流は、昨年夏に携帯電話カメラで制御されたライントレースコンテストに続く2回目となります。本校からは第1回目のコンテストに参加した学生を含め17名参加しました。各チームでテーマを決め作品を作り出す過程で、話し合い、助け合い、おもてなし、そして英語での意思疎通が必要です。私は、知識、文化、ものの考え方は一箇所にとどめておくべきではなく、それぞれが交換して高め合っていくものだと思います。本校で開催している海外学生交流が、今まで学んできた英語や専門の知識、文化の違い等の様々な考え方を交換し、お互いに高め合う良い機会となることを期待しています。



長岡高専のこれまでの協定締結の一覧

協定締結校	国名	協定締結日
黒龍江工程学院 (学術交流協定)	中国	2004年9月22日 (2009年11月27日更新)
南海東軟信息技术職業学院 (学術交流協定)	中国	2009年10月27日
ハノイコミュニティカレッジ (学術交流の覚書)	ベトナム	2010年11月18日
黒龍江工程学院 (学生交流に関する覚書)	中国	2011年10月24日
泰日工業大学 (学術交流協定) (学生交流に関する覚書)	タイ	2012年7月3日

地球ラボからのお知らせ

◎地球ラボ紹介（地球ラボ室長 大湊 佳宏）

海外での生活・留学や国際交流の機会を探している皆さんのための情報提供の場として、地球ラボを運営しています。地球ラボが主催し、国際関係学演習という授業を火曜日の放課後に開講しています。受講者は日本人と留学生の意外な類似点・相違点に端を探り、毎年12月に朱鷺メッセで開催される「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」に留学生と日本人の混合チームで参加し、異文化理解を深めています。在校生の皆さん、今からでも遅くはありません。是非一度、顔を出してみてください。

その他にも、海外留学経験のある加藤さんが、昨年度から地球ラボスタッフとして常駐しております。また、語学学習支援の拠点にしていこうという計画もあり、本校で行っている英語多読の記録帳を地球ラボでもらえます。そのほかにも語学学習に関する支援を行っていく予定です。興味のある方は一度お立ち寄りください。



◎地球ラボ常駐スタッフ紹介 加藤 育子

昨年11月より、地球ラボのスタッフとして勤務しております。利用時間はお昼休みと放課後の11:45～12:50、14:45～18:15です。留学生の皆さんをはじめ誰でもご利用できますので、海外の話をしたり、学生同士の交流の場として地球ラボに来てみてください。国際関係学演習の様子は、ホームページ「地球ラボねっと」で更新してます。「ニコニコREADING」が必要な方も地球ラボに。どうぞよろしくお願いいたします。



学生寮行事報告

寮生総会・対面式

4月22日(火)夜、20時より食堂で寮生総会と対面式が行われました。25年度の監査報告、26年度の予算承認、各員会の役員の承認が行われ、その他、5月末にタイから学生が13人来校すること等が報告され、吉野寮務主事より良識のある寮へと言う話がありました。

総会後は対面式。対面式では寮生全員の前で、寮の幹部や寮務委員の先生、新入生78名（内女子11名）、編入生、留学生が大きな声で自己紹介を行いました。事前の練習の成果もあり、なかなかいい自己紹介だったので。声のかれた学生もいたかもしれませんね。



学生寮防災避難訓練

5月14日(水)に寮の防災訓練が実施されました。前日には雨が降りましたが、当日は快晴となり、予定通り、早朝6時25分の出火を想定した避難訓練、その後、消火器実習と清花寮に設置されている避難はしごの取り扱い説明が行われました。1時間程度の訓練でしたが、寮生達は、朝早くから眠い目をこすりつつも、緊張感の中、まじめに取り組みました。長岡消防署の方々にも来ていただき、「災害はいつ起こるか分からないので、いざという時、落ち着いて行動するためには日頃からの意識が大事ですよ」と講評頂きました。



夏の寮祭

今年度の夏の寮祭はスローガン「ありのままの寮祭」のもと、6月20日(金)～22日(日)の日程で開催されました。この日のために男女の実行委員長をはじめ中心メンバーは2か月以上前から準備を進めてきました。連日準備と練習に励んだ演劇には保護者の方の来場もあり、女子寮企画では女子寮生たちの底力があふれ、会場は大盛況でした。さらに、キャンプファイヤーではあたたかな炎の光に照らされながら、各自の特技やちょっとした武勇伝、珍体験などが披露され、楽しい一時となりました。いずれも近隣や外部の方々を含め、携った多くの人たちの協力の賜物です。

寮祭は先輩から後輩へのノウハウの伝承とともに、新たなスタイルをめざして計画、実行される寮生の創造的実体験の場です。それぞれが自分の役割を果たしつつ、文字通り「ありのまま」の自分らしさを出すことで寮生相互の結束が一層深まった3日間でした。





■専攻科の特長と魅力

長岡高専の専攻科には、電子機械システム工学専攻、物質工学専攻、環境都市工学専攻の3専攻が設置されています。2年間の専攻科の特長・魅力として、

- ①継続した研究活動
- ②高度な専門性の修得
- ③多様な進路（就職・進学）選択

等が挙げられます。①は他の大学等では見られない専攻科の最たる特長だと思われます。本科5年生という若い年齢から継続した3年間の研究活動において、実験の計画作成・実施・考察、研究成果報告のような総合的な学修を通じて、高度な専門知識・技能、工学的課題解決能力、コミュニケーション能力等を向上させることができます。②では、研究・講義・ゼミナールにおいて学生が少人数という特徴を活かし、きめ細やかな教育が実施されています。これにより、本科の5年間で学んだ科学・工学の基礎を基に、さらに高度な専門性を効率よく修得できます。③の就職に関しては、高い求人倍率が維持されています。工学系大学院をはじめ様々な大学院等への進学の選択もあります。

また、専攻科修了時には、以下の3つのタイトルを手にできます。

- ①専攻科修了（長岡高専専攻科）
- ②学士号取得（（独）大学評価・学位授与機構）
- ③JABEE（日本技術者教育認定機構）

認定技術者教育プログラム修了

②においては、学位授与の申請を行い、審査（平成25年度は全員合格）に合格すると、学士（工学）の学位が授与されます。この学位は大学の学士課程（学部）の卒業者に授与される学位と同等のものです。③のJABEE認定技術者教育プログラムを修了すると技術士補の資格が得られ、国家試験である技術士資格試験の第1次試験が免除されます。

以上、専攻科の特長と魅力について、簡単に説明しました。もう少し詳しく知りたい場合は、先生に質問してください。色々と教えてくれます。今後も多くの学生が専攻科を目指し、専攻科で活躍してくれることを期待しています。

■エンジニアリングデザイン教育導入1年 一回顾と展望

科学技術の急速な進歩と産業のグローバル化に伴い、わが国の技術系の高等教育機関には、エンジニアリングデザイン能力を涵養する教育プログラムの改善が必要不

可欠、且つ、急務となっています。本校でもそのようなデザイン教育の動向に合わせて、昨年度から専攻科全専攻の特別実験（1年前期15週）においてエンジニアリングデザイン演習を導入しました。高専で学んだ知識を応用して、グループ単位での協働作業により、コスト等の制約条件や自然・社会への影響を考慮して問題解決策を提案するプロセスを体験することが目的です。昨年度は様々な専門分野からなる全専攻1年38名を対象とし、4、5名1グループの計8グループで演習を行いました。デザインテーマは、「青少年のための科学の祭典」に向けた出展プランニングとしました。

演習を行う上で重視したのはグループ全員の主体性を生み出す会議法、合意形成といったファシリテーションスキルの修得です。商品のライフサイクルが短くなり、企画開発の上流工程側で短期間にイノベティブな商品を生み出すことが求められる昨今、グループでの協働作業は必要不可欠であり、ファシリテーションスキルの修得は今や必須となっています。演習では、アジェンダを定め、ファシリテータ、グラフィッカー、タイムキーパー、プレゼンター役の役割分担の下で会議を行う方法や、限られた時間の中で参加者の意見を引き出し、ホワイトボード等で会議の可視化を行うスキルを指導しました。また、参加者が主体的に話し合い、全員合意の上で結論を導出し、納得感を持って決定事項に取り組める合意形成のスキルを指導しました。それらのスキルを学んだこともあってか、指導側の予想以上に学生全員が主体的に演習に取り組んでくれた姿が印象的でした。

平成25年度に閣議決定された第2期教育振興基本計画には4つの基本的な方向性が示されており、その1つが社会を生き抜く力の養成です。多様で変化の激しい社会の中で個人の自立と協働を図るための主体的・能動的な力を育むことが求められています。また、経済産業省によれば、今、社会（企業）で求められている力として、基礎学力、専門知識に加え、それらをうまく活用し、多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力（社会人基礎力）が求められています。それらの要請に応じるためにも、本校でのエンジニアリングデザイン教育をより良いものとし、学生の主体的な学びを実現する教育環境を整備して行ければと考えています。



デザインレビューの様子

2グループに分かれて互いのアイデアを発表。建設的な意見交換を行い、アイデアをブラッシュアップ。

新任教職員紹介



一般教育科 教授 **米崎 啓和**

本年度4月より、一般教育科に赴任いたしました米崎啓和です。これまで、20数年間、奈良県及び滋賀県の私立学校で英語を教えてまいりました。大学時代、東京で過ごした期間を除くと、基本的に生活圏は関西エリアでしたので、長岡の地は全く初めてになります。専門は第2言語としての英語習得に関する指導法開発で、現在、リーディングとの比較においてのリスニングの特性に着目し、音素識別能力や音声の単語への分節化能力、リアルタイム処理、短期記憶保持、予測文法力といったリスニングに必要な下位技能に焦点をあてています。英語の習得は日本のような異文化体験を経験するチャンスの少ないEFLの環境では決して容易であるとは言えませんが、才能よりも興味・関心と努力が報われるのが外国語学習の特徴です。自分のこれまでの経験と研究を少しでも長岡高専の学生たちに還元できるよう工夫していきたいと考えています。



機械工学科 助教 **金子 健正**

4月1日付けで機械工学科に着任致しました金子と申します。本校の機械工学科と専攻科電子機械システム工学専攻の出身です。卒業してから7年ほど経ちますが、懐かしさを感じながら授業や研究活動をスタートさせています。研究では卒業研究から現在に至るまで放電加工に携わっており、特に絶縁性材料の放電加工について研究しています。現在は近年用途が拡大し、注目されている強化ガラスやCFRPの放電加工に挑戦しています。今後はこれらを軸にして新たな分野にも挑戦したいと考えています。

クラブ顧問はバスケットボール部を担当しています。まだまだ先生としてのオーラが身についていないのが悩みですが、学生から信頼されるように精一杯がんばっていききたいと思いますのでよろしくお願い致します。



環境都市工学科 助教 **押木 守**

今年度4月より環境都市工学科へ赴任致しました押木守（おしまもる）と申します。私は本校のOBにあたり、環境都市工学科、同専攻科を修了した卒業生です。卒業後は東京大学修士課程へ進学し、同大学に

て博士号を取得致しました。修了後は東京大学、北海道大学、Radboud大学（オランダ国）にて博士研究員として勤務させて頂きましたが、この度、長岡高専にて教育および研究に携わらせて頂く機会を得ました。皆様、どうぞよろしくお願い致します。専門分野は環境工学および環境微生物学で、主に微生物を使った環境浄化技術の開発に携わっています。微生物（≡小さな巨人）にご興味をお持ちの方、どうぞお気軽に研究室へお越し下さい！次世代の環境工学を牽引する技術者を育てられるよう努力させて頂きます。改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。



一般教育科 助教 **桐生 拓**

本年4月1日付けで一般教育科・保健体育の教員として赴任いたしました。桐生拓と申します。私は新潟県新発田市の生まれ、大学進学から大学院修士課程の修了までを横浜で過ごし、この4月より新たに長岡で

生活しています。

専門の種目は柔道です。これまでは柔道競技者の減量をテーマに研究を行ってまいりました。柔道において減量は試合結果を左右する要素の1つです。その中で減量についてどのように考え実施しているのかをこれまで研究してまいりました。

長岡高専では保健・体育の授業を担当させていただいています。卒業後に各方面で活躍する高専の学生が、生活を豊かにするためのひとつの方法として、運動に親しめるような授業を学生と一緒に作っていきたくと考えています。これからどうぞよろしくお願いいたします。



物質工学科 教授 **村上 能規**

今年、4月から物質工学科に赴任いたしました村上能規と申します。前任校は八戸工業高等専門学校（一般化学担当）ですが、八戸高専に赴任する前に技大高専教員交流人事で長岡工業高等専門学校物質工学科に2年間、お世話になったことがあり、私にとっては温かくも懐かしい職場に戻って来た喜びで一杯です。大学時代は燃焼やプラズマ等で生成するフリーラジカルの反応過程をレーザ分光や量子化学計算で追跡する研究をやっておりました。大学の助手時代に、光触媒におけるラジカル生成のレーザ分光に携わったのを機に、光触媒に関連した研究にも手を広げ、最近では、レーザアブレーション

ンによる材料合成方面にも興味を持ち、幅広く研究を進めております。高専生への教育や研究を楽しみつつ、長岡高専に貢献できるよう切磋琢磨していければと考えております。よろしくおねがいします。



一般教育科 准教授 占部 昌蔵

高専間教員交流で、昨年4月から今年の3月まで東京工業高専（以下、東京高専）に勤務していました。東京高専では、教職員の方々に温かく接していただき、気持ちよく仕事ことができました。また、学生にも

恵まれ充実した教員生活を送ることができました。担任をしていた電子工学科の学生と研修旅行に行けたことは良き思い出です。

東京高専には、長岡高専と同じく、5つの学科があるのですが、少し違う所があります。機械・電気・電子・物質工学科は、ほぼ同じといってよいと思うのですが、もう1学科に情報工学科があります。学生数は、各学科1学年に約40名在籍しているので、長岡高専とほぼ同じです。

本年度の1年生と2年生は、まだ私のことをよく知らないと思いますが、これから授業等で会う機会がありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。



機械工学科 准教授 佐々木 徹

高専一技科大間の人事交流制度による2年間の長岡技術科学大学での勤務を終え、4月より機械工学科に再着任した佐々木徹です。この人事交流期間には、様々な体験をさせて頂きました。特に、長岡高専を卒業

した学生が進学先でどのように大学生活を送っているかを、担当講義や研究室活動において身近な立場から見る事ができたことは、私にとっては大きかったです。研究については、今後の研究活動の方向性や実施体制について熟考する良い機会となり、いくつかの成果を挙げることができました。また、技科大での各種の活動において、技科大から高専を見ることにより、高専側と技科大側の考えや方針について知ることができました。今後は、この2年間で経験させて頂いたことを生かし、教育と研究を進め、努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

《事務部長》

草間 忠明

- 趣味 自宅の狭い庭いじり
- 抱負 ロコモティブ症候群に陥らないようにすること、心が嫌だと感じることは極力避けるようにすること。最近の関心事です。



《総務課 総務課長》

本田 吉栄

- 趣味 バレーボール、テニス、ゴルフ、キャンプ、溪流釣り、ドライブほか広く浅く
- 抱負 平成14年4月から17年3月まで教務係長としてお世話になっておりました。その時には、学生課事務室の4号館への引っ越し、中越地震によるキャンパスの被災(当日4号館玄関前におりました)等が思い出されます。9年ぶりの勤務となりますが、前回の事務経験も活かし長岡高専が益々魅力ある学校となるために頑張りたいと思います。



《総務課 課長補佐(庶務担当)》

湯本 厚男

- 趣味 蕎麦(そば)の食べ歩き、日帰り温泉めぐり、カラオケ
- 抱負 長岡高専勤務は、平成21年以来5年ぶり2回目となりました。自然豊富な魚沼市より1時間かけて通勤しております。高専は、これまで以上に厳しい学校運営となっていくと思いますが、長岡高専発展のために微力ですが尽力させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。



《総務課 課長補佐(会計担当)》

桑原 透

- 趣味 ドライブ、野球
- 抱負 本年4月1日付けで新潟大学より参りました。長岡技術科学大学にも勤務しておりましたので、両大学での経験を生かして本校のために尽力させて頂きたいと思っております。



《教育研究技術支援センター 技術職員》

込山 晃市

- 趣味 ドライブ、釣り、スノーボード
- 抱負 本校の環境都市工学科を卒業し民間企業に勤めておりましたが縁あって技術職員として戻ってまいりました。学生に親しまれる職員を目指して精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。



学生会新入生歓迎会

4月8日(火)、始業式の後、午後から学生会主催で新入生歓迎会が開催されました。

第1体育館では主に文化系のクラブが、第2体育館では運動部がクラブ紹介や新入生の勧誘を行いました。吹奏楽部、軽音楽部、ダンス同好会はステージ上で実際に演奏・実演を行い、新入生にアピールを行いました。多くの新入生が、自分の入るクラブを、楽しくも真剣に選んでいるようでした。



春のクリーン大作戦

4月24日(木)に毎年恒例(春と秋の2回実施)のクリーン作戦を実施しました。心地よい春の日差しの中、全学生が分担してキャンパス内の清掃、および校外の周辺地域でのゴミ拾いを行いました。本活動は、本校の奉仕活動の一環としての活動です。本活動によって学校内や町が更にきれいになりました。



留学生歓迎懇談会

5月12日(月)、学生食堂にて留学生歓迎懇談会が開催されました。今年度は第3学年に7名の留学生が編入しました。校長先生のあいさつの後、吹奏楽部による歓迎演奏会があり、その後で新留学生から一人ずつ挨拶がありました。新留学生全員、上手な日本語で挨拶や会話をし、和やかな雰囲気ですべてを終えました。



学生会主催クラスマッチ

当初予定の遠足が実施予定日の5月15日(木)、予備日の22日(木)とも雨で実施できず、かわりにクラスマッチが行われました。フットサル、ドッジボール、バレーボール、バスケットボール、大縄跳びの5種目が行われ、各クラスの対抗戦ということもあって、専攻科生、教職員も交えて熱戦を繰り広げ、大いに盛り上がりました。



平成26年度 科学研究費助成事業の採択状況

○採択件数：13件(うち平成26年度新規採択4件) ○採択総額：20,280千円

学 科	職 名	代表者名	課 題 名	区 分	備 考
一 般 教 育 科	教 授	佐 藤 公 俊	ピアトリス・ウェブの福祉経済学の研究:フェミニズム・福祉国家論・社会経済学	基盤研究(C)	
一 般 教 育 科	准教授	高 橋 剛	射影を用いた代数超曲面の関数体の構造研究—ガロワ点理論の進化—	基盤研究(C)	
一 般 教 育 科	准教授	田 原 喜 宏	ファインマン・カット汎関数に基づく確率解析とポテンシャル論への応用	若手研究(B)	
機 械 工 学 科	准教授	池田 富士雄	分数階微積分モデルの感覚情報フィードバックによる小型船舶用操舵支援システムの構築	基盤研究(C)	
機 械 工 学 科	助 教	井 山 徹 郎	3Dプリンタを用いた砥石内研削液供給機構をもつ自由形状砥石の作成手法の確立	若手研究(B)	新 規
電子制御工学科	准教授	外 山 茂 浩	ヒューマノイドロボットを活用したセルフコーチングによるトレーニング支援	挑戦的萌芽	新 規
電子制御工学科	准教授	皆 川 正 寛	有機C-MOSインバータを実現させる疑似Nチャネル形OFETの新構造とは?	挑戦的萌芽	
物 質 工 学 科	教 授	菅 原 正 義	高アミロース玄米の湿熱処理による食後血糖値上昇の穏やかな米と災害用非常食の開発	基盤研究(C)	新 規
物 質 工 学 科	准教授	田 崎 裕 二	マツタケの香りを特徴づける香気成分桂皮酸メチルの生合成機構の解明	基盤研究(C)	
物 質 工 学 科	准教授	荒 木 秀 明	単接合型太陽電池に最適なバンドギャップを持つ新材料による新型薄膜太陽電池の創出	若手研究(B)	
物 質 工 学 科	准教授	奥 村 寿 子	湿熱処理による高アミロース玄米の機能性成分の変動と「体によい」米商品の開発	若手研究(B)	新 規
環境都市工学科	教 授	荒 木 信 夫	都市下水処理UASB内への嫌気性原生動物の高濃度培養技術の開発	基盤研究(B)	
環境都市工学科	准教授	村 上 祐 貴	腐食ひび割れプロファイルに基づく鉄筋コンクリート内部の鋼材腐食プロファイルの推定	若手研究(B)	